

令和3年度

事業報告書

令和3年度（公財）東京都体育協会 事業報告

I 競技スポーツの強化と推進に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(1) 国体候補選手強化事業 ＜定款第4条第1項-5号＞	<p>◆対象人員や競技成績等に応じて各競技団体に強化費を交付し、選手強化事業を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:4月～12月(冬季競技は大会直前)まで ◇強化実績:延べ1,907日間、292事業、本大会・関ブロ大会の東京都代表選手・監督2,733名を強化</p>
	(2) ジュニア特別強化事業 ＜定款第4条第1項-3号、6号＞	<p>◆次代を担う有望なジュニア選手(小中高校生)を対象に、オリンピック競技とそれ以外の競技の2区分で、各団体に強化費を交付し、強化事業を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:年間 ◇強化実績:延べ1,266日間、258事業、選手・監督等4,453名を強化</p>
	(3) 国体選手健康調査チェック等事業 ＜定款第4条第1項2号、7号、9号＞	<p>◆スポーツ医・科学委員会を中心とする公認スポーツドクターが、健康状態(既往症、持病、コンディション、自覚症状等)のチェック及びアンチ・ドーピングに関する指導・啓発を実施 また、スポーツファーマシストによるうっかりドーピング防止(薬の服用による)の講習を実施</p> <p>◇対象競技:国体正式競技(本大会・冬季大会計41競技) ◇対象期間:年間 ◇場所:各競技団体指定会場 ◇事業実績 (1)国体候補選手健康調査 1,230名 (2)スポーツ医・科学委員会の開催 令和4年3月30日(水) (3)アンチ・ドーピング研修※ 第1回:令和3年10月13日(火) 29名 (4)その他競技力向上に関する研修の開催 第2回※:令和3年10月13日(火) 31名参加 第3回:令和3年11月7日(日) 65名参加 ※YouTube でアーカイブ限定配信(令和3年12月31日(金)まで)</p>
	(4) オリンピック候補選手強化事業(日本代表選考会出場選手強化事業) ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆日本選手権大会等の全国大会、世界選手権等の世界大会や、オリンピックへの出場が見込まれる東京都選手及びその指導者の強化活動を支援する。</p> <p>◇対象競技:東京都体育協会加盟のオリンピック競技(34競技) ◇対象期間:年間 ◇強化実績:延べ161事業、564名を強化</p>
	(5) ジュニア育成地域推進事業 ＜定款第4条第1項-2号、3号＞	<p>◆地域のスポーツ振興と併せ地域におけるジュニアスポーツのすそ野を広げることを目的として実施。</p> <p>①地区体育協会事業 スポーツ教室や大会、強化練習等を実施 ・対象競技:国体正式競技(41競技)、公開競技・特別競技(6競技)、オリンピック競技(4競技)を中心とする競技 ・実績:57地区 512事業 35,882名参加</p> <p>②競技団体事業 選手層の薄い競技の普及及び選手育成等の事業を実施 ・対象競技:ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、自転車、弓道、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、ボウリング、スケート、アイスホッケー、セーリング ・実績:11競技 28事業 984名参加</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(6) トップアスリート発掘・育成事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆高い運動能力を持つ中学生を体力テスト等で識別(選抜)し、競技人口の少ない7競技(ボート、ボクシング、レスリング、ウエイトリフティング、カヌー、アーチェリー、自転車)を体験させ、最も適性のある競技に転向することで、トップを目指せるように育成</p> <p>①育成プログラム(対象:前年度識別された第12期中学3年生) i スポーツ教育プログラム、ii トレーニングプログラム、 iii 競技別プログラム 期間:5月～12月 修了者20名 場所:日本大学文理学部 他</p> <p>②識別プログラム(都内在住の中学2年生から第13期生の選抜) 第一次選考(体力テスト)／第二次選考(競技体験、面接) 応募者171名 合格者27名(うち1名合格通知後、辞退)</p>
	(7) グローバル指導者育成事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	<p>◆トップコーチを日本国内外から招聘し、競技団体が主催する研修会等において実践的な指導方法を提供することで、国際大会等へ出場が見込まれる東京都選手を育成する指導者の能力開発を図る。 ※海外コーチ招聘はできず、国内著名コーチで実施</p> <p>◇申請競技:オリンピック対象競技のうち5競技 (ホッケー・セーリング・自転車・アーチェリー・クレール射撃) ※うち2競技中止(申請後、海外コーチ招聘が困難となった)</p> <p>◇実施競技・招聘実績 セーリング 松永鉄也 自転車 浅田 颯 アーチェリー 金 哲敏・田畑隼剛</p> <p>◇育成実績 実施3競技団体所属の指導者113名を育成</p>
	(8) スポーツ・インテグリティ推進事業1 ＜定款第4条第1項-8号＞	<p>◆都内競技団体・指導者・選手等に対し、スポーツに関わる者としての責任を再確認することにより、事故防止に資するための研修を実施し、スポーツ・インテグリティの推進を図る。</p> <p>◇指導者向け研修会</p> <p>①第1回 基調講演:「スポーツ指導者の意欲・情熱との向き合い方 ー暴力・暴言・ハラスメント問題をとらえ直すー」 講師:菊 幸一(筑波大学大学院教授) 日時:令和3年12月14日(火)18:30～20:00 会場:オンライン(Zoomウェビナー) 当日視聴者 :110名 アーカイブ視聴者:302名(12月23日から翌3月31日まで集計)</p> <p>シンポジウム:「ポスト東京2020大会におけるスポーツ指導を考える」 コーディネーター:菊 幸一 パネリスト :島沢 優子(スポーツ・教育ジャーナリスト) 益子 直美(元バレーボール日本代表) 山田 利彦(了徳寺大学職員柔道部監督)</p> <p>②第2回 シンポジウム「スポーツにおいて多様性を尊重する意義と課題」 コーディネーター:江口 桃子(フリーアナウンサー／一般社団法人日本スポーツマンシップ協会理事) パネリスト:伊藤 華英(2008北京・2012ロンドンオリンピック競泳日本代表) 花岡 伸和(2004アテネ・2012ロンドンパラリンピックマラソン日本代表) 藤山 新(東京都立大学ダイバーシティ推進室特任研究員) 日時:令和4年2月21日(月)18:30～20:00 会場:オンライン(Zoomウェビナー) 当日視聴者 :73名 アーカイブ視聴者:72名(配信開始から3月31日まで集計)</p>

区分	事業名	内容説明
1 競技力向上事業	(8) スポーツ・インテグリティ推進事業2 ＜定款第4条第1項-8号＞	◇競技団体向け研修会 日時:令和4年2月4日(金) 方法:オンライン(Zoomミーティング)及び集会 配信会場:日本青年館ホテルカンファレンスルームイエロー 参加者:当日人数 141名(オンライン134名、集会7名) アーカイブ視聴者 220名(集計期間2月23日～3月31日) 講演1「スポーツ団体のコンプライアンスー不適切経理の防止ー」 講師 大橋卓生(弁護士) 講演2「LGBTQ+の基礎情報及びLGBTQ+とスポーツについての視点」 講師 松中 権 (NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表) 野口 亜弥(一般社団法人S.C.P. Japan 共同代表)
2 国体推進事業	(1) 第76・77回国民体育大会東京都予選会 ＜定款第4条第1項-5号＞	◆第76回国民体育大会及び第77回国民体育大会冬季大会(関東ブロック大会含)に派遣する東京都代表選手を選考・決定するために、各競技別に東京都予選会を実施 ①陸上競技等 37競技 参加者 延べ17,050名 令和3年4月～令和4年8月 駒沢オリンピック公園運動場、他 ②スケート、アイスホッケー、スキー競技 参加者 延べ718名 令和3年10月～令和4年1月 ダイードドリコアイスアリーナ、他
	(2) 第76・77回国民体育大会関東ブロック大会への東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項-5号＞	◆第76回国民体育大会及び第77回国民体育大会冬季大会の地区予選会である関東ブロック大会へ東京都選手団を派遣 ①第76回関東ブロック大会(31競技) 栃木県宇都宮市 他 令和3年5月30日～8月22日 競技参加者579名 ※三重国体中止決定に伴い、ホッケー、ボクシング、ラグビーフットボール、卓球、軟式野球の5競技中止 ②第77回関東ブロック大会(冬季競技) 栃木県日光市 アイスホッケー 令和3年12月3日(金)～5日(日) 参加者38名
	(3) 第76・77回国民体育大会東京都選手団の派遣 ＜定款第4条第1項-第5号＞	◆第76回国民体育大会本大会に東京都選手団を派遣 ①第76回 本大会(三重県) 陸上競技等 38競技 大会中止のため事業中止 ◆第77回国民体育大会冬季大会に東京都選手団を派遣 ②第77回 冬季大会 i. スケート・アイスホッケー競技会(栃木県) 令和4年1月24日(日)～1月30日(日) 栃木県日光市 東京都選手団長 中嶋正宏 以下67名 ★スケート:男女総合10位、女子総合7位 アイスホッケー2位 ii. スキー競技会(秋田県) 令和4年2月17日(水)～2月20日(日) 秋田県鹿角市 東京都選手団長 中村賢二 以下53名 ★スキー:男女総合20位、女子総合19位 ★《第77回冬季大会総合成績》 男女総合成績3位 / 女子総合成績7位

Ⅱ 生涯スポーツの振興と普及に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 都民体育大会の開催	(1) 第74回都民体育大会 ～春季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	<p>◆区市町村対抗方式で、夏季、冬季、春季の各季に分けて順次実施する。春季で一巡する。年間総合成績で男子は高松宮殿下記念杯、女子は高松宮妃殿下記念杯を競う。</p> <p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>◇令和3年5月2日(日・祝)～令和3年6月19日(土) 駒沢オリンピック公園総合運動場他</p> <p>① 正式競技 陸上競技等 23種目 ② 公開競技 ハンドボール競技等 5種目 ③ 公開演技 ラジオ体操 1種目</p>
	(2) 第75回都民体育大会 ～夏季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	<p>① 水泳競技:東京五輪2020大会の会場使用等の事由により中止</p> <p>② ゴルフ競技会:令和3年10月13日(水)・14日(木) 立川国際カントリー倶楽部 参加地区35地区 参加者277名 ★男子 1位 港区、女子 1位 大田区</p>
	(3) 第75回都民体育大会 ～冬季大会～ <定款第4条第1項-1号、2号>	<p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>① 駅伝競走:令和4年2月23日(水・祝) 葛飾区荒川河川敷道路</p> <p>② スキー競技会:令和4年3月5日(土)～6日(日) 長野県菅平高原裏太郎ゲレンデ ファミリーコース</p>
2	<p>都民体育大会・東京都障害者スポーツ大会合同開会式</p> <p><定款第4条第1項-1号2号、9号></p>	<p>◆障害のある人も、ない人も、一緒にスポーツを楽しむことができる社会の実現に取り組むというスポーツ祭東京2013での「東京都ユニバーサルスポーツ宣言」のレガシーとして、第74回都民体育大会及び第22回東京都障害者スポーツ大会合同開会式を開催。互いのスポーツ競技への理解を深め、交歓できる機会を創出。</p> <p>以下のとおり実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>◇日時:令和3年5月9日(日) 武蔵野の森総合スポーツプラザ(サブアリーナ)</p> <p>◇都民体育大会選手団、東京都障害者スポーツ大会選手団の代表約300人が参加予定</p>

区分	事業名	内容説明
3	都民生涯スポーツ大会の開催 <定款第4条第1項-1号、2号>	◆中高齢対象のスポーツ大会で、互いに競い合いながらスポーツを楽しみ生涯にわたるスポーツ活動のより一層の普及・振興を図る。 ◇令和3年8月21日(土)～12月4日(土) 東京辰巳国際水泳場他 ◇3競技43地区 参加者 788名 (新型コロナウイルス拡大防止のため14競技中止) ◇対象年齢の基準は競技ごとに設定。35歳以上が主流
4	(1) 第26回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYOの開催 <定款第4条第1項-2号、7号>	◆都内在住59歳以上のシニア世代が対象。スポーツや健康づくり活動をとおして社会参加や仲間づくり、世代間交流の促進とスポーツ実施率の更なる向上を目指した都民参加型スポーツ大会 上位入賞者は、翌年のねりんピック東京都代表選手の選考対象となる。 ◇令和3年10月2日(土)～11月27日(土) 駒沢オリンピック公園他 ◇10種目:ラージボール卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、弓道、剣道、サッカー ◇参加者2,461名
	(2) 全国健康福祉祭(ねりんピック)東京都選手団の派遣 <定款第4条第1項-2号、7号>	◆第33回全国健康福祉祭(ねりんピック)ぎふ大会(主催:厚労省・(一財)長寿社会開発センター・岐阜県)に東京都選手団を派遣 以下のとおり派遣を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためぎふ大会は中止となった。 ◇令和3年10月29日(土)～11月2日(火・祝) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場他 ◇参加対象60歳以上。東京都選手団団長 並木一夫 以下344名 スポーツ交流大会(10種目)、ふれあいスポーツ交流大会(16種目) 文化交流大会(4種目) 派遣選手(336名)・役員(8名)
	(3) シニアスポーツ振興事業 <定款第4条第1項-2号、7号>	◆東京都の高齢者のスポーツ実施率の向上と、健康維持・増進に寄与するため、地区体育協会等が主催者となり、シニア世代を対象としたスポーツ競技会、講演会、講習会等の事業を実施 ◇対象 主として60歳以上の都民 ◇期間 年間 ◇会場 都内他 ◇参加人数 47地区 241事業 15,397人 (新型コロナウイルスにより61事業中止)
5	都民体育大会等の事業見直しに係る調査検討 <定款第4条第1項-1号、2号>	◆令和2年度から都民体育大会及び都民生涯スポーツ大会の今後のあり方について検討した。その結果、「都民体育大会」を「東京都スポーツ大会」に、「都民生涯スポーツ大会」を「スポーツフェスティバル東京」に名称変更するとともに、参加資格を都内在住者から都内在住・在勤者に変更するなど、大会実施要項等を改正した。 ◇調査分析 令和2年 5月～12月 ◇事業見直し検討会 令和3年 3月(2回実施) ◇体育大会委員会常任委員会 審議 令和3年 8月～11月 ◇体育大会委員会 決定 令和3年12月 1日 ◇令和3年度第4回理事会 承認 令和4年 3月 8日 ◇施行日 令和5年 7月 1日

Ⅲ 地域におけるスポーツ振興体制の整備充実等に関する事業

区分	事業名	内容説明
1 地域スポーツ振興体制の充実	(1)加盟団体代表者会議 <定款第4条第1項-2号、8号>	◆加盟団体に対し、毎年度開始前の事業計画・収支予算案の説明と終了後の事業報告・決算報告を通じた意見交換のほか、諸課題への対応協議、情報提供などを実施 ◇対象 計 111団体(競技団体41団体/種目団体8団体/地域体育団体59団体/学校体育連盟 小・中・高3団体 ①開催日:令和3年6月11日(金)に開会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を見合わせ書面により意見聴取した。 ◇議題等 ①令和2年度事業報告並びに財務諸表(案)について ②その他 ◇情報提供 東京都オリンピック・パラリンピック準備局から ②開催日:令和4年3月8日(火)に開催 ◇議題等 ①令和4年度事業計画・収支予算書(案)について ②その他 ◇情報提供 東京都オリンピック・パラリンピック準備局から
	(2)地区体育協会等の振興 <定款第4条第1項-1号、2号>	◆地区体育協会、種目団体、学校体育連盟に対し、規模に応じて区分を設け、振興費を交付して組織強化と事業推進に役立っている。 ◇対象 ①地区体育協会 59団体 ②学校体育連盟 3団体 ③ 種目団体 8団体
	(3)幹部中央研修会 <定款第4条第1項-2号、8号>	◆加盟団体の当面する課題解決の方策や今後の事業のあり方等について、講演や研究協議、事例発表等の研修を実施 ・日時:令和4年2月1日(火)15:00~16:40 ・会場:オンライン配信 ・参加者数:加盟団体の幹部役員 156名 アーカイブ視聴者:129名(2月7日から3月31日まで集計) ・内容 ①主催者挨拶 山本博(公益財団法人東京都体育協会 会長) ②講演「東京2020大会の成果とスポーツ界に与えた影響」 講師:二宮雅也(文教大学准教授、日本財団ボランティアサポートセンター参与) ③情報提供「TOKYOスポーツレガシービジョンについて」 吉田亮平(東京都オリンピック・パラリンピック準備局 総務部事業連携担当課長)

区分	事業名	内容説明
2 顕彰事業	(1) 生涯スポーツ功労者 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆スポーツの振興に貢献し、功績のあった者。 新型コロナウイルス感染拡大予防の為、表彰式の実施を見合わせた。 ◇表彰人数 71名
	(2) 生涯スポーツ優良団体 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆スポーツの普及活動と地域のスポーツ振興に功績顕著な団体 ◇実施日 新型コロナウイルス感染拡大予防の為、表彰式の実施を見合わせた。 ◇表彰団体数 52団体
	(3) 国体優勝等選手表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	①国体優勝団体(国体で男女総合成績第1位の競技団体) ◇対象者無し ②特別功労者 (国体等で世界新記録又は日本新記録で優勝した選手) ◇対象者無し ③国体優勝功労者(国民体育大会で優勝した選手、監督) ◇対象者無し ④国体優秀選手(国民体育大会で入賞した選手) ◇表彰人数 40名 新型コロナウイルス感染防止対策により式典は実施なし
	(4) 中学校・高等学校全国大会優勝者、優勝チーム ＜定款第4条第1項-8号＞	◆東京都中学校体育連盟及び東京都高等学校体育連盟の所属学校生徒で、全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会の優勝者、優勝チームを表彰 ①優勝チーム 表彰団体 15団体 ②優勝者 表彰者 143名
	(5) 体育優良生徒表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆中体連、高体連の生徒で体育、学業ともに優秀な者(令和3年度卒業生) ①中学校 1,451名 ②高等学校 777名
	(6) 永年勤続功労者表彰 ＜定款第4条第1項-8号＞	◆本協会役員で、永年にわたりスポーツ振興に尽力し、功績顕著な者 ◇該当者なし

区分	事業名	内容説明
3 公認スポーツ指導者の養成と研修	<p>(1) 公認スポーツ指導者養成講習会 (コーチ1・コーチ2)</p> <p>< 定款第4条第1項-4号、8号 ></p>	<p>◆ 地域スポーツ組織での競技の専門的な技術指導、スポーツクラブ等の育成・運営指導、スポーツ大会等の企画・運営を行う指導者養成を目的とした「スポーツ指導者の知識・技能審査事業」</p> <p>① コーチ1(専門科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSP0委託: ハンドボール10名、バドミントン21名、ボウリング19名 計3競技50名 ・独自開催: バレーボール37名、軟式野球51名、ソフトボール55名山岳31名、スポーツクライミング12名、計5競技186名 <p>〈中止〉ホッケー 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p> <p>② コーチ2(共通科目Ⅱ)</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴いJSP0にて開催</p> <p>③ コーチ2(専門科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JSP0委託: 卓球13名、スポーツクライミング9名、空手道34名 計3競技56名 <p>〈中止〉バドミントン 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p>
	<p>(2) スポーツ指導者派遣事業 (人材バンク)</p> <p>< 定款第4条第1項-4号、8号 ></p>	<p>◆ 東京都公立学校の学校部活動の外部指導者の確保を目的として、日本スポーツ協会公認指導者の活動機会の拡充、資質の向上を図るため、人材バンクへの登録・紹介等を東京学校支援機構(TEPRO)の委託を受けて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報業務 東京都登録指導者への事業チラシ配布(約10,000部) ・指導者紹介事業 ・相談業務 ・研修業務 年間2回(インタラクティブ研修、オンデマンド研修)
	<p>(3) スポーツ東京案内事業 指導者派遣事業</p> <p>< 定款第4条第1項-4号、8号 ></p>	<p>◆ 地域スポーツの活性化へ寄与するとともに、スポーツを楽しむ機会を創出することを目的として、(公財)東京都スポーツ文化事業団と連携し、区市町村が主催するスポーツ教室等に指導者を派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣実績: 10件
4	<p>日中・日韓等スポーツ交流事業</p> <p>< 定款第4条第1項-2号、7号 ></p>	<p>◆ 韓国、中国、ロシアにおいて、地域レベルにおけるスポーツ交流を実施し、相互理解を深め友好親善とスポーツ振興を図るために実施</p> <p>希望地区なし</p>

区分	事業名	内容説明
5 スポーツ少年団の組織拡充と活動促進	(1) 登録の推進と地区本部の振興 <定款第4条第1項-2号、6号>	<p>ア 役員・指導者・団員数に応じ、地区本部37地区に対する振興費配分 前年度の状況:令和2年10月6日現在 299団 指導者数1,652名 役員96名 スタッフ765名 団員数8,029名 地区本部段階役員43名 地区本部段階スタッフ53名</p> <p>イ ブロック別の活動に対する振興費の配分 城北、城南の2ブロック</p>
	(2) 指導者、リーダー等の養成と研修 <定款第4条第1項-2号、6号>	<p>ア スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 ・講義・検定試験 令和3年11月下旬～12月31日/オンライン開催 ・グループワーク 令和4年1月16日/日本青年館ホテル 参加者 60名 修了者 33名</p> <p>イ ジュニアリーダースクール等の開催 ・ジュニアリーダースクール 令和4年3月19日(土) 10:00～17:00/日本青年館ホテル 令和4年3月21日(月/祝) 10:00～17:00/日本青年館ホテル 参加者(ジュニア・リーダー認定者)3単位団 11名 スタッフ 指導者4名 リーダー3名 事務局3名</p> <p>・東京都リーダー研修会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p> <p>ウ 派遣事業の実施及び開催 ・関東リーダー研究大会 令和3年10月16日(土)(オンライン開催) 派遣者なし</p> <p>・シニア・リーダースクール 令和3年8月17日(火)～20日(金)(オンライン開催) 派遣者なし</p> <p>・全国リーダー連絡会 令和3年6月12日(土)～13日(日)(オンライン開催) 派遣者なし</p>

区分	事業名	内容説明
5 ス ポ ー ツ 少 年 団 の 組 織 拡 充 と 活 動 促 進	(3)少年団交流活動の推進 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	<p>ア 東京都スポーツ少年団競技別交流大会の開催 令和3年6月27日(日)～7月4日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場他 ・競技:サッカー・バトミントン ・参加者:42団 730名(指導者含む) ※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止とした競技種目 (緊急事態宣言発出期間中含む) 軟式野球・ミニバスケットボール・バレーボール・なぎなた・空手道</p> <p>イ 東京都スポーツ少年団大会の開催 令和3年10月24日(日)～11月21日(日) 駒沢オリンピック公園総合運動場各競技場、東京武道館他 競技:軟式野球・ミニバスケットボール・バレーボール サッカー・卓球・バトミントン・剣道・空手道 参加者:106団体 1,928名</p> <p>ウ 関東大会・全国大会等への派遣及び開催 ・関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p> <p>・関東ブロックスポーツ少年大会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p> <p>・全国スポーツ少年大会 期日:令和3年9月19日(日)20日(月/祝) 会場:オンライン開催(東京都主管) 参加者数:47名(含む東京都参加者12名)</p> <p>・全国スポーツ少年団競技別交流大会 ①全国スポーツ少年団軟式野球交流大会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 ②全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 ③全国スポーツ少年団剣道交流大会 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p>
	(4)指導者協議会 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	<p>① 指導者研究協議会の開催 新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止</p> <p>② 全国研究大会等への派遣 期日:令和3年6月11日(金)～12日(土) 会場:オンライン開催</p> <p>・ジュニアスポーツフォーラム 期日:令和3年6月13日(日) 会場:オンライン開催(東京都主管)</p> <p>・関東ブロック指導者研究協議会 期日:令和3年6月13日(日) 会場:オンライン開催</p>
	(5)東京都スポーツ少年団表彰 ＜定款第4条第1項-2号、6号＞	<p>◆表彰式の開催 表彰式は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止 永年功労者表彰15名、功労者表彰18名、永年活動優秀団体2団</p>

区分	事業名	内容説明
6 スポーツを通じた被災地支援事業	(1) 東京2020大会被災地交流事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆東日本大震災の被災地(岩手県・宮城県・福島県)の子供たちと東京の子供たちを東京2020大会に招待し、夢と希望を与えることを目的に実施 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、東京2020大会が無観客開催となったため、本事業を中止
	(2) 東京マラソン2021(10km)高校生招待事業 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆東日本大震災の被災地(岩手県・宮城県・福島県)の高校生を東京マラソン2021(10km)に招待し、被災地を支援 ・日程:令和4年3月5日(土)～3月6日(日) ・参加者(選手):29名(岩手県6名、宮城県20名、福島県3名)
7	総合型地域スポーツクラブの育成支援 ＜定款第4条第1項-2号、7号＞	◆生涯スポーツ社会の実現に寄与することを目的に、総合型地域スポーツクラブの育成支援に努める。 ・関東ブロッククラブネットワークアクション2021参加(令和3年11月14日(日):ニューサンピア高崎) ・登録・認証制度クラブ向け説明会(令和4年2月10日(木):オンライン開催) ・総合型地域スポーツクラブ育成委員会(令和4年2月14日(月):東京都体育協会会議室) ・SC東京ネットワーク総会(令和4年3月22日(火):オンライン開催)

IV 自主事業の実施

区分	事業名	内容説明
1	広報活動の充実 ＜定款第4条第1項-9号＞	◆ホームページやツイッターを活用して、随時、情報発信を行った。 ・本協会の会報を年1回発行した。 ・本協会概要の紹介用リーフレットの作成
2	トップアスリート交流事業 ＜定款第4条第1項-3号＞	◆トップアスリート発掘・育成事業の第12期生達に、海外の同世代で同じく世界を目指すアスリートたちと交流させることで世界を強く意識させトップアスリートになるための意識の醸成を図る。 世界規模での新型コロナウイルス感染症のまん延による渡航自粛に伴い事業を中止した。
3	スポーツ指導者研修会 ＜定款第4条第1項-4号、8号＞	◆公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進のため、協賛企業の協力を得て、研究成果の講演及び研究協議、情報交換等を行う。 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止(全2回とも)

※ 以上のとおりであるが、令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書について、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。